

第1回いわき市スポーツ推進計画検討委員会

◆日時：令和元年11月28日（木） 午後3時45分～

◆場所：いわき市文化センター 2階 中会議室

■出席者

(1) 委員（敬称略）：14名

区分	所属	氏名	備考
高等教育機関	東日本国際大学	福迫 昌之	委員長
スポーツ関係団体	いわき市体育協会	高羽 博樹	副委員長
	福島県エアロビック連盟	佐々木 喜栄子	
	いわき市スポーツ推進委員会	石井 文雄	
	いわき地区総合型スポーツクラブ連絡協議会	高田 幸子	
	(株)いわきスポーツクラブ	岩清水 銀士朗	
教育関係者 及び 関係行政機関	いわき地区高等学校体育連盟	比佐 功	欠席
	いわき市中学校体育連盟	吉田 信治	
	いわき市小学校長会	平子 宗司	
	福島県いわき教育事務所	愛川 政弘	
経済・観光団体	いわき商工会議所	酒井 比呂志	
	いわき経済同友会	波多野 和茂	
	(一社) いわき観光まちづくりビューロー	鹿崎 耕司	
その他	(株)L. A. P	伊藤 英雄	
	(一財) いわき市公園緑地観光公社	松本 守利	

(2) 事務局：10名

文化スポーツ室	津田室長	
スポーツ振興課	蛭田課長	
	鈴木課長補佐	
	正木課長補佐	
	本田係長	
	小針係長	
	菅波係長	
	鈴木主査	
東京オリンピック・パラリンピック担当	大津主任主査	
観光交流課	新妻主幹兼課長補佐	
創生推進課	松本課長	

■次 第

1. 開会

2. 委員及び事務局紹介

3. 委員長・副委員長選出

4. 協議等

(1) 報告等事項

① (仮称) 市スポーツ推進計画策定に向けた取組みについて

(2) 協議事項

① 市民アンケートについて

② (仮称) 市スポーツ推進計画に盛り込むべき視点について

(3) その他

5. 閉会

■議事要旨

委員・事務局紹介の後、委員長・副委員長選出が行われ、事務局案である委員長 福迫委員、副委員長 高羽委員について承認され、会長からの挨拶の後、協議等について事務局が説明し、その後、意見交換が行われた。

以下に、各出席者の発言要旨を示す。

(1) 報告事項 (仮称) 市スポーツ推進計画の策定に向けた取組みについて

委員長	報告事項として、これから協議を始めるにあたっての前提ということではありますが、今の時点で確認しておきたい事項等がございましたら、皆さんお願いします。
委員長	よろしいでしょうか。これまでの計画や国の計画を踏まえて、これからの計画にどのように盛り込んでいくのか、ただいま説明があった事項を前提に協議を進めて参りたいと思います。

(2) 協議事項 ①市民アンケートについて

委員長	市民アンケートを12月に実施したいということと、アンケートだけで、市民のスポーツ活動・意識を全部把握することは難しく、計画策定にあたっての基礎データの把握ということになるかと思われませんが、アンケートを実施するにあたり、項目が多いと回答してもらうことが難しくなるということで、原案をA4裏表程度にまとめていただいた。加えるべき点や他の項目で市民がどう思っているのか調査した方がよいのではないかという点がありましたら、御意見をいただきたいと思えます。
委員	アンケートを無作為で実施するということで、いわゆる町場、山の手、その他いろいろと地域に応じ、スポーツに対しての考え方や実施の方法やらまちまちだと思うのですが、そういった地域性を考慮してアンケートを取るのかどうかを確認したい。

事務局	<p>ただ今の質問に関しまして、アンケート3,000件の抽出につきましては、3,000件を地区別の10歳刻みの人口数によって按分し抽出していくという方法を採用しております。また、全地区の10歳刻みの区分から少なくとも2名の方を対象としておりますので、そのため、地域による偏りという点に関し、市内全地区に対し万遍なく実施する形となっているものと捉えています。</p> <p>しかしながら、人口数が少ない中山間部の場合、抽出個数の下限として2件設定はしてはいるものの、その2件とも回答がないといったことも考えられなくもない。そういった部分については、アンケートとは別に、先程、ヒヤリング調査をしていきたいというお話をさせていただきましたが、地区体育協会や各公民館、公民館で活動している団体など、そうした方々にヒヤリングを行うことにより、アンケートでは賄えない部分を補完していきたいと考えています。</p>
委員長	<p>集計にあたって、地区別のクロス集計などは当然実施するというところでよろしいですか。</p>
事務局	<p>実施します。</p>
委員	<p>今、アンケートを全部、自分でやってみたのですが、複数回答の質問で全部〇がつく項目も出てくる。そうなった時に、どこか絞っていくのか、回答数とか、そのへんのことを記入しておいた方が、回答する側とすればしやすいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>どうでしょうか。通常、3つまでとかそういう形で絞るということもありますけども、事務局はどのように考えているのか</p>
事務局	<p>案の検討にあたり、ほとんど〇がつくことは想定していなかったところではありますが、例えば、スポーツする理由には様々な理由があって、多くの項目に〇がつくということは当然なのかなと思います。他のアンケートにおいては、主な理由を聞くという形で3つまで〇をつけてくださいということが多いのかなと思いますので、本アンケートについても、3つまでという形で修正したいと思いますが、皆さん、いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>例えば観戦したスポーツを選んでくれ、というなら、全部付けてもいいとは思いますが、理由等がある程度集約するために3つ位ということですね。おおよその方向性や傾向を把握するというところで、事務局で絞るべき、回答しやすいということも含めて回答数に制限をかける、という方向でお願いします。</p>

委員	<p>スポーツの定義についてですが、私共の団体では施設の運営管理を行っておりますが、昨今、「eスポーツ」が話題となっています。私達の年代ですと「テレビゲーム」と捉える部分はあるのですが、世界的に見ると、スポーツの仲間入りをしているようにも伺えますので、そうしたものも、今回のスポーツ推進計画の中に入れられるのかどうか。聞くところによると、スポーツの定義・語源は「気晴らし」ということで、日本は「体育」と訳したのが間違いだ、と言われていたとされています。スポーツの定義をきちんとしないといけないのかなと思いますが、その辺りは事務局でどのようにお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>確かに最近、eスポーツという言葉が数多く聞くようにはなっていますが、現時点で、国の計画に何らかの記載がされるという段階には至っておりません。ただ、本年度のいばらき国体においては、文化プログラムとして初めてeスポーツが行なわれたところであり、今のところは、来年度も実施される予定だと聞き及んでおります。今後、少しずつスポーツとして認識されてくるのか、あるいは、そうではないのか、ちょっと動向が見えないところがあり、今回のアンケート調査でそういったキーワードが出てくるのかというのを見極めながら、定義については、少しずつ絞っていきたいと思っております。</p>
委員長	<p>所管に入っているのかという言い方も変ですけども、現時点でeスポーツへの市の関わりはどうか。</p>
事務局	<p>今のところは、まだ、いずれかの部等で所管するというような状況には至っておりません。</p>
委員長	<p>大きく捉えると大きな問題になるので、スポーツ推進計画にeスポーツというものを入れるのかという話にもなってくるころですが、その辺りの協議はこれからということで、アンケート段階で、それを入れるか入れないかというところですが、事務局において、現在のところは全く想定していないということですけども、これについて何か、やはり入れるべきであろうとか何か、皆様のご意見はございますか。</p>
委員	<p>入れなくてもよいと思います。スポーツの定義自体がすごく広くて、ジョギングはスポーツですけども散歩はどうなのかというのも最近出ています。eスポーツも、自分たちの年代をもってしても、eスポーツがスポーツかどうかというのがあります。娯楽とか、その境というのは、その競技自体のものなのか、それとも娯楽、健康なのか、幅が広いと思うので、敢えて定義はしなくても、今のところ、やらざるを得ないときはやるとは思うのですが、今のところは入れないでファジーにする、というのはおかしいですけど、そのへんは一般論的な考えで進まれた方がよいのではないかと思います。</p>

委員長	<p>特になければ、今、委員の方からあった意見になるかと思うのですが、Q4とかQ10とか、そういったところでeスポーツと書いてくる可能性もある。それはそれで、ということで、項目の中に明示して入れるということは、とりあえず今回はいいのではないかと、ということで。ちょっと一旦、棚あげて、出てきたときはそれを参考に、今後の協議の中で検討すると。ではそういった形でご了承いただければと思います。</p>
委員	<p>このアンケートは、健常者に対するアンケートであって、最終的に障がい者スポーツを令和3年度から入れたときに、障がい者の方に対してアンケートを取っておかないと、何をどのように進めていくのかというのが見えてこないのではないかと、と思うのですが、その辺のところはどのように考えているのか伺いたい。</p>
事務局	<p>障がい者スポーツの推進を通じた共生社会の実現といった大きなテーマが基軸になっているところがありますので、障がい者の皆さまや関係団体などのご意見を聞く必要は当然あると思っております。ただ、今回のアンケートで、そこまでカバーできるかという点、ボリュームが増えてしまう面がございますので、対応は厳しいものと考えております。そのため、先程申し上げましたヒヤリング調査の中で、障がい者のスポーツ団体や支援学校の先生にお話を伺いに行くとか、そういうところでカバーできればと思いますので、ヒヤリングの対象としたほうが良い団体等に関する情報がございましたら、事務局にお教えいただければありがたい。現段階ではヒヤリングで対応させていただきたいと考えております。</p>
委員長	<p>アンケート調査でやるかどうかということに関して、市ではヒヤリングで対応するということでした。ご提案というか、ご意見として、障がい者向けのアンケートというのもあっていいのではないかと、というご意見だと思いますけれども、無作為抽出で送る場合、そのへんはチェックしたうえで送るのでしょうか。</p>
事務局	<p>無作為抽出の場合、対象者が障がい者であるかどうか、当然に分からないので、ノーチェックで送付する形となります。また、障がい者向けのアンケートとなると、例えば市で保有している情報から宛名ラベルを作成して送付することになるが、それは個人情報関係で困難です。アンケートを実施するかどうか、今後、検討を進めていきますけれども、そういった場合には、各小学校や支援学校経由で、児童・生徒にお願いするといった形になるのかなと考えます。</p>
委員長	<p>何かしら他の方法で、特定のアンケートのやり方という形もあるし、ヒヤリングという手法もあるということですね。</p>
事務局	<p>無作為で抽出してという方法は難しいと考えておりますので、特定の方経由で、お願いする形で検討していくこととなります。</p>

委員	<p>来年の東京 2020 大会で、パラリンピックがマスコミに取り上げられる機会が多くなってくると思います。そうなると、スポーツをやってみたいという障がい者の意見というのは、おそらく高くなっていくのではないかと思います。そうしたことも見越して、アンケートを取っていかないと、中々難しいのかなと考えます。ヒヤリングでは、どうしても難しい面があると思う。障がい者の立場に立って、様々な考え方を取り入れていく方が良いと思う。その方法については、事務局で検討していただければいいし、すぐ実施しなければならないという訳ではなく、1年かけて考えてやれば良いと思う。その辺のところは事務局にお任せしたいと思います。</p>
委員長	<p>いずれにしても、(障がい者へのアプローチは) 検討課題にはなると思います。</p>
委員	<p>Q10 につきまして、本市にはいわき F Cがあるので、サッカーで2項目、Jリーグと日本代表に分かれています。せっかくの市民アンケートですので、いわき F Cも回答項目の中にも含めると、今現在、いわき F Cの試合を見ているというような人数なども、ある程度把握できると思います。「サッカー (いわき F C、Jリーグ、日本代表)」という風に、一つのサッカーという中で括ってしまったらどうなのかなと思います。</p>
委員長	<p>現在の回答項目との別立てではなくて一緒に、という形でいいですか。</p>
委員	<p>そうですね。いわき F Cも、いわき市の特有なものですので、それも含めた方が良いのかなと思います。</p>
委員長	<p>今、御意見をいただきましたけれども、事務局としてどう考えますか。</p>
事務局	<p>只今ご意見をいただいて、確かにそうだなと思いました。ただし、回答項目を一括りにするのはもったいないという印象を受けました。いわき F Cを観戦している数というよりも、パーセンテージでの把握とはなってはしまいますが、どの位の割合の方が観戦しているのか、いわき F Cを特出した項目を設定させていただきたいと考えますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>そうしたデータがもし取れるということであれば、今後のマーケティング的な部分などに、色々と活用できるかと思うので、ありがたいなと思います。</p>
委員	<p>Q10 の回答項目に入れるのではなく、別の設問をおこすということか。</p>
委員長	<p>Q10 の回答項目を一つ増やすという感じで受け止めた。</p>
委員	<p>いわき F Cについて、別の設問をおこした方が良いのではないかと。(スポーツによる人・まちづくり) 協議会の一員に市が入っているのだから。市民がどのくらい関心があるのかについては、別の設問でやった方がしっくりした数字が出てくると思う。やり過ぎでしょうか。</p>
委員長	<p>委員の皆さんどうでしょうか。また、市としてどうでしょうか。</p>

委員	市として実施しようとするのがすごくやりにくいと思うのですが、先程の御意見のとおり、いわきFCに関するデータ取りも含めて、別の設問を設定することをこの検討委員会として提案することとしたらいかがでしょうか。現在、試合の観客数はどの位ですか。
委員	ホームゲームですと平均1,000人位ですね。
委員	極端に言うとも32万6,000人となりますよね。いわきFCというより、いわきスポーツクラブという括りの中でサッカーがあるだけで、市民からの関心も高く、企業としても、いわき市に来てくれるのはすごくありがたい話だと思っています。市からの自発的なアンケート項目設定という形ではなく、市内関係各所が構成員となっているこの検討委員会として提案した形で、いわきFCに関する設問を設定してもよいと考えますが、皆様いかがでしょうか。
委員長	皆さん、こういう意見ができました。最終的には事務局にお任せしてもいいですか。
事務局	いわきFCに関し、貴重なご意見をいただきましたので、別の設問を設定するというスタンスで、質問内容などについて事務局で検討し、実施する方向で進めたいと思います。
委員長	先程ご意見のあった障がい者への対応ということについては、無作為抽出で実施し、仮に障がい者に送付された場合にどのような回答ができるのかといったシミュレーションも含めて、また、障がい者のご意見を別に取りする方法も含めて、検討事項にさせていただきたいと思います。それでは、最終的には、体裁も含めて、事務局にお任せするという事とし、只今出たご意見等を踏まえた形で修正を加えるということにさせていただければと思います。

(2) 協議事項 ② (仮称) 市スポーツ推進計画に盛り込むべき視点について

委員長	①のアンケートについては、本日の協議を踏まえて、事務局で調製するという事ですけども、この②は、本格的にこの委員会で議論していくこととなります。スケジュールで見ますと第2回委員会時に、本日の御意見を踏まえた形での素案が出てくることになるかと思っています。そのための材料出しということで、皆さんからの御意見をいただきたいということです。章立てについては、現時点での想定ということですが、特に2章・3章に関わる気付きなり、意見なり御自由にいただきたいと思っています。
-----	--

委員	<p>新しい計画作りの章立てということで説明いただいた中で、現在の計画において4項目が未達成だったという説明が先程ありましたが、章をおこして、こういうことをすると謳っていくときに、今までの計画では達成できなかったことを、今度はどうしようとしているのかと聞きたくなると思います。今の段階で見えている見通しとか、今まではこうだったけれどもこれからはこういう視点を入れていきたいな、という言葉には起こしてないまでも、スポーツ振興課で考えている策や見通しがあれば、お聞かせいただきたいと思います。</p>
委員長	<p>事務局から、もう少し説明を求めたいということです。難しい質問かもしれませんが、例えばということで、先ほどの達成指標、これを更にどうにかするという話もあるでしょうし、この指標がどうなのかという話もあるでしょう。今の計画を踏まえて、新しい計画としてどのようなことを考えているのか、素案的なものとか範囲とか、方向性とか、何か追加で説明できるものがあれば、若干繰返しになる部分もあるかもしれませんが、お願いしたいと思います。</p>
委員	<p>今の段階で、計画素案を固めていくために意見を聞きたいというのであれば、現在の計画で未達成であることに関して、皆さんの立場からこういったことはどうなんだということも出しやすいかな、と思って質問しました。あえて難しいことを聞こうとしているのではなく、議論の口火を切るのには達成できていないところをどうしていったらいいのかというのは話しやすい部分かと思ったので伺いました。</p>

資料3 ページに達成具合がございますが、未達成の項目が4つあり、これらの項目に対し、今後のどのように対処していくのかという部分を整理している状況ではありませんので、現状の取組等について、お話しいたします。

2番目の総合型地域型スポーツクラブ（の目標値）9団体につきましては、現行計画策定時の平成20～22年の段階では、9か所位設立に向けた動きがあったと聞いております。その後、なかなか設立まで至らず、平成30年度末においては、1団体解散した団体があり、5団体となっております。現在、学校・部活動においてスポーツを行っている子は多いですが、学校外でのスポーツの場も当然に重要となると考えており、各地域でスポーツを実施する、又はできるような環境を整えていくことが望ましいところですが、そのためにはどうしていけばよいのかという部分が、手探りというか、見えてこない状況にあります。

5番目の体力テストの数値につきましては、平成24・25年位が極めて低く、本市・浜通り地域、福島県全体として、全国平均を大きく下回っている。各学校で先生にも御努力いただいております。今は全国平均を若干下回る状況、学年や性別によっては、上回る場所もあって、大分本市の子ども達の体力は戻ってきていると受け止めています。株式会社いわきスポーツクラブにおいても、アスレティックアカデミーなど、子ども達向けの取組みを実施しているところではありますが、市においても、アウトリーチ型のスポーツ教室「元気キッズサポート派遣事業」を行っています。これまで、市がスポーツ教室を実施しても、基本的には自分で行く人や自分で情報を取りに行く人しか集まってこないという状況にあり、そうすると、スポーツやる人とやらない人が分かれてしまう。そのため、アウトリーチ型のスポーツ教室はすごく大事だと思っており、多くの子ども達、あまり興味がない子にもスポーツをやっていただけるような仕掛けを考えていかななくてはならないと考えています。

スポーツ指導、スポーツ少年団の認定員の割合については、現在、新たな制度が示されており、来年度から日本スポーツ協会のスタートコーチという資格を取っていないといけないという話になっています。この項目については、現状では未達成ではありますが、今後、新たな制度の下で改善してくるのかなと考えています。ただ、指導者のなり手という部分、スポ少で自分の子どもがやっている時にはスポ少を存続させるために指導者（の資格）を取るけれども、自分の子供が卒業したら関係なくなってしまうなど、継続した指導者の確保はなかなか難しい。ボランティア的にやって下さっている地域の方、学校の先生がいらっしゃるので、すごくありがたいところではありますが、継続した指導者、指導者の育成というのが今後必要になると捉えているところです。

最後のスポーツコミッションを通じた合宿団体誘致数ですが、目標の100団体というのは、今振り返ると、設定が高すぎたのかなと思っていま

	<p>す。市スポーツコミッションをはじめ、様々な団体とか市外からの合宿誘致に取り組んでおりますが、もともとの設定自体が大分甘かったのかなと受け止めています。</p> <p>平成 29 年度の 10 月に、試行事業として、市スポーツ振興課の中に市スポーツコミッションを設置し、合宿誘致や大会誘致などのワンストップ窓口機能を持って行っています。この部分については、現在、上手く機能していると思いますし、今後、その在り方も含めてどうしていったらいいのかな、ということは引き続き検討していきたいと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>行政計画だと、どうしても数値目標というのを立てて、それで達成したかしないかということで、今回の立て付けの中にある、枠内にある目標値は、最終的にある程度検討しないといけないと思うのですが、数字だけ追ってどうなんだというところもありますし。色々な状況を踏まえてということなので、それらを踏まえて何か、こういったものが必要だとかがございますか。</p>

委員

私たち、もともと行政の人間ではないので数字だけだとマイナスに見えてしまうかもしれないですけども、ただ、もっとこういわきで実際に行っていること、例えばスポーツクラブで言いますと、確かに5団体にはなったけれども、総合型スポーツクラブは名乗らないけれど、地域のために貢献している団体は沢山ある。会員だけのためにやっているのではなくて、誰でもいいよ、おいで、という形で、スポーツ経験隊（いわきブルーレーブス）でやっていらっしゃることもそうですし。水石というサッカーチームでさえ、サッカー以外でも地域の貢献のために頑張っている。そういう、きちんとしたルールに則らないとクラブではない、と捉えるよりも、いわきにはそれだけ活動している方々がいるので、広く捉えれば、そういった方々からもヒヤリングをして、地域からそういう動きを応援していくということがあれば、行政の方々だけが数字で困ることにもならないと思う。強みをもっと出されてもいいのかなというのが、まず一つです。あと、体力の部分も、学校や県でも、「じぶん手帳」など、県を挙げて体力向上に取り組んでいて、福島県の子供たちは改善傾向に当然あります。ただ、一番子ども達が望んでいて実現できていないのが、やりたいけどできないという子ども達が多いということです。現在のスポーツ少年団の加入率を見ると、ひと昔前は3割位入っている時代があった。現在の加入率は1割から2割だと思う。つまり、7割、8割以上の子ども達がやりたいけどできないという状況をじゃあ誰が救うんですか、といたら、子ども達が身近な環境、例えば公民館施設とか社会教育施設もありますけれども、やっぱり、学校の施設活用の在り方をもう少し検討していくこと、学校教育課や市教育委員会の管轄となるかもしれませんが、子ども達にとって身近な環境づくりをいわきから考えていこうということも入れていただくと良いと思う。子ども達はスポーツをやりたいんですね。（意欲が）衰えているわけでも決してなくて、継続する場がないだけであると私は感じています。そのために、大人が行政の縦割りを超えて、生涯学習でやっている土曜学習を活用するのもひとつだと思います。そこでは、地域の大人や親が沢山集まってきて、子ども達が年間10回くらいのシリーズですけれども、喜んでやっていきます。今、こうした取組みが広げられないのは、生涯学習・社会教育におけるマンパワーが足りないだけなんですね。だからそこにスポーツを通じた応援団が加われば、いわきの各地区を網羅することができる活動にも繋げていくことができる。生涯スポーツにも貢献できる材料がいわき市で既に行われている取組みでもあるので、そういうことをぜひ前向きに子ども達の生の声を考えたら、大人が施策に入れていくことをお願いしたいという思いがあって、質問させていただきました。

委員長	まず今日は、御意見をいただくということですので、その他御自由に皆さんからお願いしたいと思います。まったく違った視点でも、資料に記載のあることでも構いません。ここが重要だということであればお願いします。
委員	いわきサンシャインマラソンの参加人数とか、そういったものも入れていく方がいいのかと思います。実際にやっているイベント等に関して盛り込んでいくことが良いと思います。
委員	10年前に作った目標、数値目標というものが、そんなに大事なのかなと感じます。会社においても、数値目標というものはすごく大事なのですけれども、スポーツ推進に関して、自分もずっとスポーツに携わってきたのでおもうのですが、10年前の考え方、最初に作ったものが、今も通用するのか。eスポーツもはじめ、流れを含んで。その辺の考え方を少し変えて、いわきを良くする、活性化するためにはどうしたらいいかっていう推進計画でもいいような気がします。昔のことが悪いとか、昔の数字が良くないとか否定する気は全くなくて、世の中が、昔は10年ひと昔だったのが、今は1、2年でひと昔になった時代であり、もしかすると、今考えても2年後に変わってしまうかもしれない。スポーツ推進計画に、数値目標よりも、この検討委員会に来ている皆さんも、経済団体の先生方も、いわきを良くするためにどうしたらいいのかというのを中心に考えて、地域活性化するため、交流人口を増やす、人口を増やすためにどうしたらいいか、スポーツを通じて増やしていければいいのかなと考えます。数字が本当に必要であるのか聞いてみたいなど。これは、素朴な疑問です。
委員長	これが数値目標案だというのが出ていますが、そういったことも含めて、枠組みが固まる過程で検討していきたいと思います。本当に必要あるかどうかを含めて、ということになるかと思います。
委員	数値のことで言うと、これからどんどん悪くなると、僕はそう思っている。子どもは少なくなっているのに、子供の参加率はどんどん下がっているのが現実ですよ。今おっしゃるように、10年前の数値と、今度挙げる数値が、10年前の数値を挙げてしまったら全然話しにならないですね。数値を挙げるのであれば、今の現状で挙げたほうがいい数値にしていけないと、中々難しいのかなと思います。
委員長	まさに方向性をまた広げて、色んな観点から計画を作っていこうということなので、前あった指標がいいのかどうか、同じ指標でも取り方とか絶対数が下がったとしても率が上がるということは当然あるということですから、そういった観点でやった方がいいだろうとか、そういった話が出てくるかと思います。その辺をちょっと頭に入れていただいて、次回以降の協議の中でご意見をいただきたいと思います。
委員	率にしていけないといけませんね。

委員長	<p>地域活性化というのも原案の大きな柱にありますので、中身をどうしていくのか。特に、ご自身が関わっているところはどうかという。支える仕組み作りというところも、学校だけでもないし、学校が果たす役割もどうなんだ、というのがありますし。最初にお話しいただいたようなところかと思います。</p>
委員	<p>私共は、上荒川公園、21世紀の森公園等の施設を管理しています。13ページの参照③のところに、スポーツ施設の稼働率があります。一昨年の例で言いますと、私共が管理しているいわきグリーンフィールド、国体の時に、ラグビーフットボール競技で使われた天然芝のグラウンドですが、年間100日近く（平成29年度）使われており、1日3試合行いますので、芝の状態を保つため、今年から、1日の試合を2試合、1週間で2日という形をとらせていただいて、なんとかいい状態を保っています。何を言わんかといいますと、稼働率というと、分母が問題になってきます。1年365日ありますが、天然芝の場合は、せいぜい使えるのは、年間60～70日。それを分母に稼働率を出すのであればよいと思う。そういったのもご考慮いただいて、単なる365日を頭にする稼働率ではなく。人工芝もある程度そういうこともあるかとも思いますが。天然芝等につきましては、そういった見えないところもございますので、その辺りを考慮した稼働率の設定にさせていただいた方がよろしいかと思います。365日を分母にしますと、せいぜい20%くらいの日数の稼働率の低さになります。その中で様々な団体がお使いになり、天然芝の場合は、稼働率はいつも100%に近くなりますので、それをご考慮いただけらたと思います。</p>
委員長	<p>稼働率というのは、全然稼働していないなど、遊休施設かどうかということを見るということです。ただ単に数字で上がった下がったではなくて、その施設が十分に活用されているかどうかを見るということです。今おっしゃったような形で、100%近く利用されているのであれば、施設が足りないのかという話が出てくるわけですね。グリーンスタジアムにつきましては、なかなか予約を取れないということがあったりするので。野球場、これだけあるのになんで取りにくいのか、それだけ使われているのだな、稼働率が高いのだなというのがあります。ハードのところ、というのも一つこれから動いていただく取組みだと思います。</p> <p>その他、何か、今日の時点でございますか。</p>

委員	<p>スポーツを通じた地域活性化の中に、いわきF Cとの連携というものがあるのですが、これ、「いわきスポーツクラブ」にならないのかなと感じました。サッカーだといわきF Cということになると思いますが、スポーツに関する取組を実施されている母体はいわきスポーツクラブであり、サッカーだけではなく、ラグビーなど色々なスポーツをやらせて、子ども達の運動神経を伸ばせるという面で、集まれる子が集まって練習している。それを、野球団体やラグビー団体などが、あの指導の考え方を取り入れて、いろいろな場所で、出張じゃないですけども、例えば学校に持ち込んで出来たらいいなと考えます。自分も教員免許を持っていて、臨時で教員やっていましたが、その場合、先生がすごく大変で、学校に呼び込んで怪我すれば、学校の責任となる。このあたりの課題について、この委員会の場で論議できると思わないですけど、事務局にも、学校に迷惑が掛からない形で学校施設が使えるような手法について検討してほしいし、学校施設がもっと使えるようになるとよいと思います。</p> <p>今も、受け皿がない、少年団に入りたい、地域が広いから通えないのか、親の生活状況のうえで習えないのかとか、色々な理由はあると思いますが、とにかく、学校は5時になったら門を閉めなければならない。これは多分、危ないから。5時になったら閉めなくてはならないとかありますが、先生方に迷惑がかからないかたちで、自由に利用できる形になるとありがたいと思います。</p> <p>産業として、いわきスポーツクラブがあって、現在、試行的な形で子ども達を集めてアカデミーを実施していますけれども、こうした取組を広げていくこと最寄りのではないか。</p> <p>一部、サッカーが嫌いだからいわきF Cが嫌いという人も、たまに聞かれますけれども、ただ、それと、子ども達の育成は分けて考えてもいいのではないかとも思います。そうしたことを市役所が前面に立って言う問題があるので、こういった委員会の場で議論してもいいのかなと思います。</p>
委員長	<p>一つは、学校の利用ということについて、最初にいただいたご意見からも出ましたけれども。その辺は議論できるかということも含めてお話しただくと。これは、叩き台ということでもありますので、一般にはいわきF Cの方が名前が通っているので、ここにいわきF Cと書いてあると思うのですが、内容的に整備する段階でいわきスポーツクラブ、ということになるかと思います。</p>
委員	<p>サッカーだから嫌だと思っている人もいるみたいです。いわきF C、いわきF Cって。実際問題はDOMEがやっているいわきスポーツクラブがやっている。色んな所で地域貢献、学校も含めて、競技もサッカーだけでなく、野球などを取り入れている。隠れ蓑にするわけではないですけど、そういったのもひとつ、いわきF Cを若干表に出してもありなのかな。色んな形で変えられるのかなと。</p>

委員長	<p>文言的な部分については、最終的に整備するという形になろうかと思っています。他には何かございますか。</p>
委員	<p>初めに、市民アンケートに関して、地域性のことを質問しました。いつも感じるのですが、町場の子ども達や働いている方は、色々な施設が近くにあるのでやろうと思えばできるわけですね。ところが、山の中の子ども達又は働いてる方、これはなかなかできない。自家用車があるだろうと言うけれども、町場よりはずっと不便になってくる。その辺は、何とかこう、数は少ないですけども運動能力がまだ未知のところがあるだろうと思うし、小さな学校であるならば、バドミントンやらテニスやら強いところは強い。そういった子供たちがいる中で、山の方の学校の子ども達が薄れているような感じがして気になって仕方がない。自分の仕事場が永井にあります、永井は小中学校が閉校になっている。子供はスクールバスで送迎されており、時間できちっと限られており、今からボール蹴りたいなと思っても誰もいない。バスが待っている。家に来れば友達も遠い。何か方法がないかなと気になっている。この場で全面解決するわけではないだろうとは思いますが、何とかお知恵を拝借して、廃校になった体育館を上手く活用したり、町場の場合、スポーツクラブにおいて活動ができるけれども、山場の子ども達は、廃校になった学校施設があるのにそれができない。非常に損をしていると思う。能力のある子どもはいっぱいいると思います。それが言いたくて、この機会にお話ししました。</p>
委員長	<p>いわき市全域におけるという平等、同じかどうかは別にして、いわきは広いですから、それに対応したスポーツの在り方・策ということで、今、ご提案というか具体的なお意見がありましたけれども、それも含めて何かございますか。</p>

中学校の現状をお話しさせてもらおうと、どんどん子供はスポーツをやらなくなっています。子供は減っていて、部活動はそのまま残っていて、結局大会に出られないので合同チームで出る。それもだんだんと増えてきている。中学校の部活動というのは、実は小学校やスポ少との兼合いがあって、小学校で盛んなスポーツ、例えば、バレーボールが盛んだ、となると中学校のバレーボールが盛んになる。ないと、全然だめになってくる。小学校が二極化しているので、中学校も二極化しているのが現状です。

今年の1年生あたりから出てきているのが、早く帰るといふ子がいる。昔は部活動をやって帰るといふのが当たり前だった。今は、部活動をやらないで帰る。それは何か、ゲームをする。何故かといふと、親が帰って来る前にゲームをしたい、そのために早く帰る。そのため、小学生が中学校で部活動に入らないといふふうな状況になっている。先生が怖い、疲れたくない。そこが今、中学校に上がってきて、いろんな問題になっているのかな。小学校で強い子が上がってきますよね。昔は中学校から部活動始めたので、その子らも一緒にやったじゃないですか。だいたい同じ位に昔は始まりました。でも、小学校からやっているから、入った段階でレベルが違うんですよ。そうすると、初めて入った子ども達が入らない。そこで、部活動内で問題が出る。保護者から。「なんでうちの子ども、使わないのか。上級生なのに。」そういうふうなものが今、ものすごく中学校の中にあります。

そして今、働き方改革でしょう。部活動をやんな、の世界ですよ。やるなど言っては悪いな。そういうふうな中学校の現状。その中で今存続をして、中体連をやっている。

本当に、根本的にスポーツの考え方を変えないと、「持続可能な」といふ言葉が今出ていますが、持続可能なといふことを考えていくと、新しい仕組みを作っていないと、本来はだめなんじゃないかと思えます。そこで、総合型スポーツクラブをずっとやってきているけど数が増えない、といふのは、申し訳ないけれども、日本には合わないからだと思えます。もっと日本に合う、今の部活動と上手くマッチするようなことをやっていかないと、新しいものを作っていないといけないと思ふし、そういう考え方が必要なんじゃないか。

例えば、体協と連携して、中学校の部活動を体育協会に担ってもらい、活動場所を「学校もいいですよ。」という形にする。部活動の先生も体協に入り、体協の指導者として実施する。小学校の児童達がそこに練習に来ても、一緒にやろうかみたいな、小学校と部活動が一緒になって、そういうふうな、地域をうまく巻き込むような仕組みを作らないと、スポーツがこれからどんどん衰退していくのではないのか、というふうな感じがします。

これは、密かに思っている案なのですが、そんなことを研究できるよう

	<p>な、例えばどこかの地区を指定して、モデル地区として実施してみてもはどうだろうか。そのような新しい仕組みを考えていかないと、今まであったものではなかなか難しいんじゃないかなという感じがしました。</p>
委員	<p>今、仰られたとおり、推進計画は推進計画で作っておいて、今のご意見とか、学校の使い方とか、おいおい入れていったほうが間違いなく良いと思います。このままいけば、スポーツをする子どもがいなくなってしまうし、やりたくてもできない子もいるでしょう。本当に、そういう意味では、今いただいた意見というのは、後で絶対に議論する必要があるって、全国に先駆けて、いわきで一番最初にやったっていいと思います。それは先程の体協がやるのか、いわきスポーツクラブがやるのか、そういうのもいい気がします。</p>
委員	<p>今おっしゃる通りで、体育協会の毎月配布される雑誌の方には、実際に中学校をパイロット地区のように、いくつかの中学校の部活動を、例えば、剣道はA中学、例えば、同じ武道だとして柔道はB中学。そういうのを一つの、子ども達が移動できるような範囲の中で、色々な部活をそれぞれの学校に分担をしてやっていく、というような案も実際に出ています。そうでないと、例えば内郷一中だとサッカー部がございませんね。だけどやりたいというお子さんは実際にいるんです。二中にはあるんです。だから、例えば、一中と二中が合同でやることというのは可能なのかなんですよ。</p>
委員	<p>教育委員会の「学区」の問題なんですよ。「隣接学区はいいんじゃないの」と言っているんだけど、うん、と言わないんです。</p>
委員	<p>そうですね。でも、体育協会には、そういう案が実際に。</p>
委員	<p>郡山なんかはそういうようなことをやっているんですね。いい部分もあるし、悪い部分もある。問題はあるね。でも、そういう柔軟な考え方は必要ですね。</p>
委員	<p>そうですね。今までの枠組みに囚われていたら、いつになってもそういう改革はできないので、おっしゃったように、いわきが一番最初に全国先駆けてやるっていうのも、いわきFCも含めて、東北で一番スポーツの盛んな都市というか、町にしたいという部分においては一緒じゃないか。共通してできることなんじゃないかと思います。</p>
委員	<p>一年中スポーツができる場所ですからね、ここは。</p>
委員	<p>それは、売りですよ。</p>
委員	<p>こんな環境のいい所はないです。</p>
委員	<p>いわき市に合宿に来ないと言うのはおかしいと思う。</p>
委員	<p>スポーツコミッションなんかは、雪で閉ざされて冬場できないっていう所はどんどん呼んで色々な場所でやれると、また地元との様々な組合せで、地元のチームも一緒に活動できますし、強化も図れますので良いと思う。</p>
委員	<p>そういうのも論議していったらいい。</p>

委員長	<p>今日ご意見出していただきましたが、特に学校の活用とか、子ども達のスポーツというのが中心になって、これが一番大きな課題であろうということで中心になったんでしょうけれども、最初に出た、障がい者のための整備とか、あるいは高齢者のスポーツの機会、これは子ども達よりも充実していくのかもしれませんが、いずれにしてもそういった問題もありますので。特に中心に出たところは、割と共通した、これからのいわきを支える、というか、子ども達のスポーツ環境は非常に厳しいことになっていく、これをどうしようかと。いわき市全体として全部同じ形でやるのはなかなか難しいと思いますので、おっしゃったように、柔軟なところというのはある程度のところまで、一律に市で決めましたからやります、全部の所でやります、というのではなくて地域事情に応じた形で何ができるかとか、そういったところまで踏み込めるのかということも検討しながら進めたいと思います。</p> <p>最後に、これだけは発言したいということがありましたら、お願いします。</p>
委員	特になし。
委員長	<p>今日の意見を踏まえて事務局で整理してもらって、次回の第2回委員会で基本方針とか、具体的に2章、3章のところを協議して、その次に決定するかたちにしたいと思いますので。今日いただいたご意見を整理して、論点出しということを行ったということにさせていただきたいと思います。</p>

以上